

令和6年度第1回嘉麻市立図書館協議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和6年度第1回嘉麻市立図書館協議会
2. 開催日時 令和6年5月27日（月曜日）午後1時30分～3時00分
3. 開催場所 嘉麻市役所 碓井総合支所 2階 会議室4
4. 公開又は非公開の別 公開

5. 出席者

（1）委員

- ・下川和彦会長・西田淳子副会長・森弘成委員・北富真治委員・古江和恵委員
- ・水上京子委員・坂本光正委員
- （欠席）・・・山口希代子委員

（2）執行機関

◎ 生涯学習課

- ・教育長 木本寛昭・課長 末永康洋・課長補佐（兼文化推進係長） 松浦宇哲
- ・主査 有江俊哉・主査 藤原千晶

◎ 指定管理者

- ・統括責任者 下田富美子・チーフ 藤本あすか

6. 傍聴人数 0人

7. 議題

- 1) 役員の選出について
- 2) 令和5年度事業報告について
- 3) 令和6年度事業計画及び進捗について

8. 審議の内容

（会議録の確認者の決定） → 下川委員に決定

1) 役員の選出

会 長（下川 和彦 委員）

副会長（西田 淳子 委員）

1) 令和5年度事業報告について・・・原案のとおり承認

事務局（指定管理者）から、資料1に基づき補足説明を行った。

（説明要点）

指定管理者より

- ・2p蔵書構成については、重複した図書購入を避け、効果的な資料収集に努めている。自治体運営時代と同様の蔵書構成としており、バランスを考慮しながら購入している。併せて、各図書館の重点収集に沿った資料収集をしているため、実際に各図書館にお寄りいただき、本に直接触れていただければ有難い。

・ 5 p 利用数の推移については、令和3年度から5年度にかけて大きな変動は無く推移している。コロナ禍以降、少しずつ外出が増えるような社会的な機運があるが、図書館にも来館していただけるように、新しいことにも取り組みながら、利用数が増えていくように努力したい。

・ 11 p レファレンス件数については、電話や窓口等で、調べものに対応した件数になっているが、カウンターのスタッフに声かけしてよいか戸惑う利用者が居られるため、探しもの等をされている様子が見受けられる方には積極的にスタッフの方からコミュニケーションを取るように心がけている。

・ 13 p 事業報告については、図書館で行う様々なイベントについて掲載している。

・ 16 p お出かけプロジェクトについては、市内の学校・幼稚園・保育園等にて、おはなし会や講師派遣の活動を行っている。また、新たに高齢者のいこいの場であるオレンジサロンにも図書館スタッフが出かけていき、おすすめ本の紹介やボードゲームをとおして、図書館の魅力をお伝えしている。

・ 17 p 一般向けのイベントについては、従来から子どもを対象とした図書館イベントが多い傾向にあったが、昨年度については一般の方を対象としたプログラムを増やして開催した。また、古本譲渡会についても、青空フェスタ等、地域で開催されるイベントに移動図書館車の運行も含めて参加することで、図書館を知ってもらう機会を提供している。

・ 18 p ボランティア育成事業については、社会活動の一つとして、個人ボランティアの説明会等を行いながら、図書の修理や配架、絵本の読み聞かせについて、気軽にご参加いただけるようにしている。

・ 19 p から25 p には、図書館で行う特集展示コーナーの報告を掲載している。多数ある蔵書の中から利用者に本を選んでもらうのは難しい面もあるため、様々なテーマを企画しながら、本に興味を持っていただけるような工夫をしている。市内4つの図書館において、嘉麻市市内の高齢者介護課等との連携事業として、自治体の推進しているテーマに沿った内容についても取り組んでいる。

・ 26 p 購入雑誌タイトル一覧については、市内4つの図書館において、購入している雑誌を掲載している。多様なジャンルを購入しているが、できるだけタイトルが重複しないように配慮しつつ、利用の多い雑誌については重複するものを限定して購入している。

・ 28 p 図書館サービス指標については、昨年度とほぼ変わらない状況となっているが、令和6年度については、できる限り数値が増えるように努力していきたい。

・ 最後に、付録としてイベント報告写真を掲載しているが、個人が特定できない様にあえて写真を不鮮明に加工している。多くの方にイベントに参加していただければと考えている。

(質疑)

委員： 5 p 利用数の推移において、令和4年度を令和3年度と比較すると約20%増加している。令和3年度利用数は、コロナ禍において利用数が減少したと考えてよいか。令和2年度と令和3年度の比較数についても併せて知りたい。

事務局： 令和3年度において、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言により、長期にわたる休館が続いたことから利用数が減少し、令和4年度につい

ては臨時休館等が発生しなかったことから利用数が増加している。また、市民一人当たりの貸出冊数として、令和2年度は2.77冊、令和3年度は2.99冊となっている。

委員：11 p レファレンス件数の記載があるが、レファレンスとは具体的にはどのような内容なのか。

事務局：郷土に関するものや医療関係の調べものが主な内容となっており、簡易な蔵書調査等は含んでいない。

委員：16 p 図書館見学において、小学校の見学は概ね2年生が来館しているように報告されているが、2年生で図書館見学を行う理由が分かれば教えてほしい。

事務局：小学2年生において、町を探検するという学習があるため、図書館や公民館等を例年見学されているようだ。児童数の少ない学校については稀に1年生とともに見学するケースもある。

委員：26・27 p 雑誌購入タイトル一覧について詳しい内容が報告されているが、今年度の購入予算はどのくらいなのか。

事務局：雑誌代として280万円、別に備品関係の図書資料等は1,600万円となっている。

委員：レファレンス件数として、電話・口頭・文書に分類されているが、メールでの受付は行っているか。

事務局：図書館のメールアドレスについては、一般公開していないため、主に文書はFAXや郵送での依頼方法となっている。

委員：10月に碓井図書館で特集展示された「碓井郷土館関連秋月藩400年」については、朝倉市と自治体間の連携があったのか。

事務局：自治体間の連携ではなく、碓井郷土館の企画展示に合わせた特集展示コーナーとなっている。

委員：登録者数は、累計方式で積算しているか、または何年かに一度更新をしている数なのか。累計方式であれば、実利用数と乖離していく面があるため懸念している。

事務局：累計方式で登録を行っており、現在のところ更新を行っていない。今後、更新も含めて、一定のガイドラインに沿った登録等の方法を調査研究し、検討していく必要があると考えている。

委員：年報を分析していくためにも、利用数と併せて予算を含めて年報に掲載することはできるのか。また、一年間のあゆみの記録等、過去の重要なトピック等も含めて年報に掲載できると、より年報資料が充実すると考える。

事務局：委員の皆様方からいただいた貴重なご意見について、内部協議を行いながら、次年度の年報に可能な限り反映できるように検討していきたい。

2) 令和6年度事業計画及び進捗について・・・原案のとおり承認

事務局（指定管理者）から、資料2に基づき補足説明を行った。

（説明要点）

指定管理者より

- ・年間を通して様々な行事の準備をすすめているところである。
- ・レファレンス共同データベースへ新規に参加することとした。レファレンスの情報を共有して、地域の情報を相互利用できる点について期待している。
- ・個人ボランティアの育成について、継続して取り組む。
- ・今回の報告については、4月分のみとなっている。定期的な子ども向けの行事については、年度初めということもあり参加者が少なめとなっている。乳幼児健診後にはなし会の参加に繋がるように日程を調整し、実施できるように工夫している。より多くの方に来場していただけるように検討調整を行っているところではあるが、従来からのやり方にとらわれず、柔軟に対応できるよう配慮していきたい。
- ・4月から5月にかけて、春の子ども読書まつりを行った。図書館に来ると楽しいという体験を重視したクイズやイベントを開催した。
- ・子育て支援課との連携事業として、世界自閉症啓発デー関連の特集展示コーナーの設置を行った。

(質疑)

委員：個人ボランティアの育成については、昨年度もあったような配架や修理のボランティア活動を継続していくような内容になるのか。自分自身、配架ボランティアをしているが、各図書館での参加人数については、どのような違いがあるか。

事務局：昨年度加入いただいた方に継続していただきながら、新規ボランティアの育成についても予定している。令和5年度図書館年報に個人ボランティアの活動実績を掲載しているが、ボランティアの方には、ご都合に合わせて活動する図書館を選んでいただく形としており、特に図書館としては活動場所を指定していない。

委員：市内小・中・義務教育学校においては、日常的に児童・生徒がタブレット（通称：カスタ）を利用して、学習等を行っている。タブレットのリンク集に、嘉麻市立図書館のホームページを掲載することで児童・生徒が図書館イベント等を周知できる可能性がある。

事務局：ご提案いただきタブレットの活用について、内部協議を行い、できるだけ早く対応できるようにしていきたい。なお、現在、図書館のイベントのチラシについて、必要に応じて、カスタに掲載できるようにしているところである。

併せて、筑豊地区子どもの読書活動推進連絡会議においても、管内の図書館利用が全体的に減少している点について、共通した課題を認識している。今年度の課題解決の三本柱として、学校図書館と公共図書館の連携、就学前の子どもたちに対する読書活動、図書ボランティアの育成の強化を挙げ、取り組む予定になっている。図書館利用をいかに増やすか、子どもたちの活字離れに働きかけ、学力向上にもつなげていくことが重要と考える。

委員：市内の小・中・義務教育学校において、朝の読書活動以外に授業時間の中で、ボランティアを活用した読書活動をできないか。

事務局：新年度を迎える前に、市内の学校長に対して、図書ボランティアの活用を促す案内を行ったところである。少しずつ、活動が再開する動きも出てきているところである。

委員：学校では教職員の働き方改革の一環として、授業中の様々な活動について、

コロナ禍前のように授業時間が確保できないことが現状としてある。各学校において、様々な活動時間をどう確保するかについて工夫する必要がある。

委員：コロナ禍前に、ボランティアが授業時間のおはなし会を行う場合は、各学年に45分間授業時間を使用して、おはなし会の時間を行っていたが、現在、予定している学校の授業時間中の活動については、図書の時間があるクラスに限定した上で、冒頭15分間絵本の読み聞かせを行う予定としており、学校側とボランティア側の双方で無理の無い範囲で進めるようにしている。

委員：学校のコミュニティスクール化の流れから、地域のボランティアの方々が学校で活動していただく可能性は今後少しずつ高まってくると考えられる。

委員：学校も含めた市としての子どもの読書活動推進計画の中でも協議されていくべきと考える。

9. その他

- ・図書館の行事案内

- 第2回嘉麻市図書館を使った調べる学習コンクール

- 図書館を使った調べる学習コンクール チャレンジ講座①、②

- 民話をたずねて2

- 絵本ですくすく講座

10. 配布資料

- ・令和6年度第1回嘉麻市立図書館協議会次第

- ・令和6年度嘉麻市立図書館協議会委員名簿

- ・資料1 令和5年度事業報告

- ・資料2 令和6年度事業計画及び進捗について

上記に相違ないことを確認する。

令和6年6月4日

会議録確認者

下 川 和彦